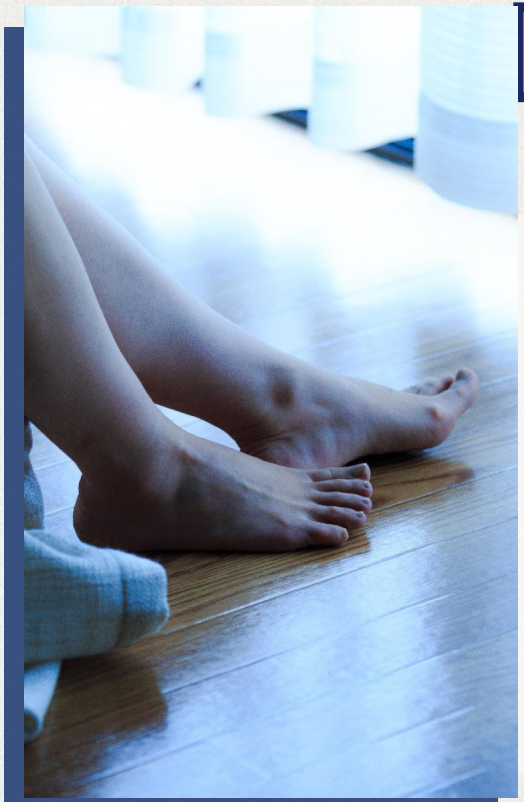

直木賞作家 姫野カオルコ プロデュース企画
朗読演劇
聞き耳ァワー
QUOBO PICTURES

朗読演劇 聞き耳アワーシリーズ 第1弾 上演決定！



『エンドレス・ラブ』

原作：姫野カオルコ ／ 脚本・演出：鴨義信

あらすじ

古いアパートに暮らす38歳の独身サラリーマン。

彼は壁に開けた直径7mmの穴から、長く空き室だった隣の部屋を毎日覗いている。

ある夜、隣室に引っ越してきた女性――彼が「菜穂子」と名づけた清楚な美女――に心を奪われ、湖畔で写生をする白昼夢にまで浸る。

しかしその夜、菜穂子のもとに見知らぬ男が現れ――。

壁一枚を隔てた覗き穴から見える世界に、自らの欲望と孤独を映し出す男の物語。

実施概要 & 上演予定

聞き耳ファワー

演目	「エンドレス・ラブ」徳間書店「H(アッシュ)」収録
上演スケジュール	2027年1月22日(金)～24日(日)
上演期間	3日間
上演時間	約90分(トークショー込み)
ステージ数	5-6回公演
キャスト数	3名
会場	下北沢 小劇場B1(100席程度想定)
チケット代金	6000円前後
将来展望	シリーズ化／定期開催(※詳細は調整可能)



H (アッシュ)
姫野カオルコ 作

秘やかな欲望を描く、十篇の官能譚

今後の上映予定	【第2弾】「X博士」 ／ 【第3弾】「探偵物語」

1. シリーズコンセプト

聞き耳ファワー

文学を「読む」から「劇場で聴く」へ。

POINT

直木賞作家・姫野カオルコが
「耳で読む文学」を厳選チョイス＆プロデュース！

新しい文学体験型朗読劇シリーズです。

選び抜かれた珠玉の物語を、劇場という空間で声・音・映像とともに QPSSが立体化。

ライブ体験を起点とし、ポッドキャスト・音声配信へと展開。

「耳から出会う文学」を日常へ届けます。



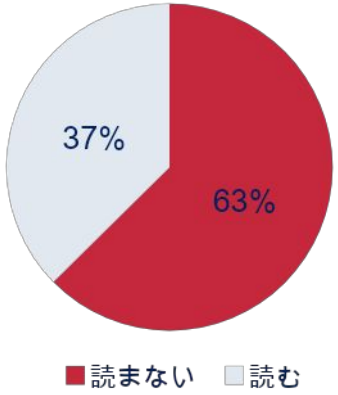
2. 企画意図

「耳からはじまる文学体験」を劇場で創出させたい

POINT

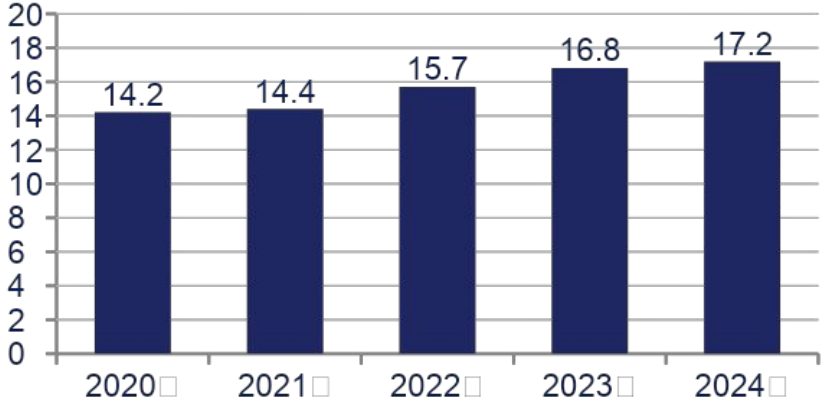
活字離れが進む一方で、「聴く時間はある」
そんな現代人の生活リズムへ。

活字離れの現状（1か月に本を1冊も読まない割合）



出典：文化庁『国語に関する世論調査（令和 5年度）』

国内ポッドキャスト 月間利用率の推移



出典：株式会社オトナル・株式会社朝日新聞社『ポッドキャスト国内利用実態調査』

3. 作品群

聞き耳ファワー

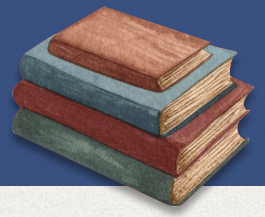
少し怖くて、少し可笑しくて、少し淫らで …
なぜか心に残る物語たち。

POINT

怪談、幻想譚、純文学、珠玉の短編

――ジャンルを横断しながら、耳で聴くとより深く沁みる作品を姫野カオルコが選書。

公演ごとに、違う世界へ迷い込むような感覚へいざなう連作型朗読劇シリーズ。



POINT

劇場空間ならではの【ライブ体験】

音楽・環境音による没入感ある演出の中、実力派キャストが朗読。

ポッドキャスト等の「耳だけ」とは異なる、五感を使った「体験」。



4. ターゲット

聞き耳ファワー

活字から離れていた新規層にも多角的にアプローチ



文学・小説ファン ⇒「姫野カオルコ氏の選書・監修」でアピール

若年層・カルチャー層 ⇒「2.5次元キャストの起用」でアピール



その他の周辺ターゲット

- ポッドキャストリスナー
- ミステリー／怪談好き
- 官能好き
- 舞台・朗読劇ファン



5. プロデュース

聞き耳ファワー

直木賞作家「姫野カオルコ」

1958（昭和33）年滋賀県生れ。2014（平成26）年『昭和の犬』で直木賞を受賞。ほかの著書に『受難』『ツ、イ、ラ、ク』『リアル・シンデレラ』『彼女は頭が悪いから』などがある。



姫野カオルコ本人が、本シリーズでは以下を担う

- プロデュース
- 作品選定
- 世界観監修
- 文学的クオリティ統括

単なる朗読劇ではなく、作家と一緒になって届ける文学レーベルとして展開します。

6.製作Quobo Pictures / 制作QPSS総合プロデュース

聞き耳ファワー

QPSSとは:「物語の力で世界を動かす」知的生産工房。

QUOBO **P**ICTURES **S**creenwriters **S**tudio



http://www.quobo-pic.com

X:@QPscreenwriters

映画・ドラマの企画開発から、ゲーム、企業キャラクター開発まで、構成力と創造性であらゆる物語を設計・構築するクリエイティブ集団です。

圧倒的没入感！

QPSS 脚本家チームが創る「耳で聴く演劇舞台」

本シリーズでは、QPSSのプロ脚本家チームが脚本構成・舞台演出設計・音響設計すべてを統括。

単なる朗読ではなく、文学作品を“舞台言語”へ見事に翻訳し、上質な「耳で聴く演劇舞台」空間を創り上げます。

7.メディア展開＆キャラクター

聞き耳アワー

本公演は単発イベントではなく、継続的なシリーズ　IPとして展開。

展開予定

- 劇場朗読公演
- ポッドキャスト配信 / 音声アーカイブ
- サブスク配信
- 書籍コラボ
- グッズ展開 / オリジナルキャラクター

聴く文学ブランドとして　IP化を目指します

オリジナルマスコット

「耳」を象ったキャラクターを制作予定

グッズ化やキャラクタービジネスでも展開

IPの定着と愛着を醸成します


QUOBO PICTURES